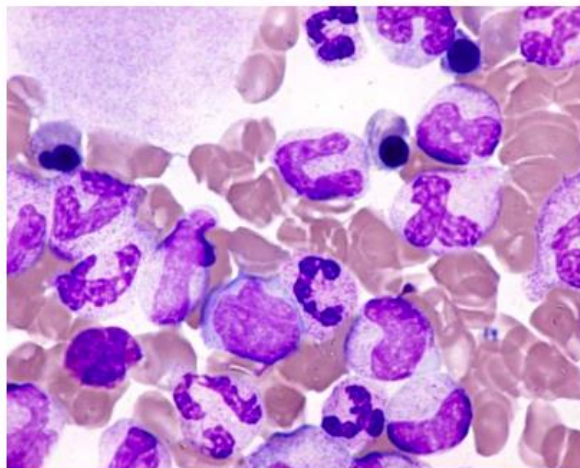


## 血液内科・リウマチ膠原病内科

### 血液内科

血液内科学分野では貧血、白血病、悪性リンパ腫など血液疾患の診療、研究を行っています。全身をめぐる血液には白血球、赤血球、血小板といった細胞が含まれており、それぞれ重要な役割を担っています。血液疾患ではこれらの血液細胞が異常をきたします。オープンキャンパスでは、血液に関するクイズなどを通して、正常造血や血液疾患についての理解を深めていただきます。また、新規薬剤、骨髄移植（造血幹細胞の移植）、免疫細胞を用いた治療、現在取り組んでいる研究内容についてもご紹介いたします。



### リウマチ膠原病内科

リウマチ膠原病内科は、全身性自己免疫疾患を対象とした診療と研究を行っています。環境中には沢山の微生物が存在し、一部は病気を引き起こします。病原体から生体を防御しているのが免疫ですが、その機能が過剰になると、かえって生体を傷害する免疫反応を起こし、自己免疫疾患を発症します。自己免疫疾患は、甲状腺機能亢進症など臓器に限られるものと、関節リウマチや全身性エリテマトーデスをはじめとする全身性自己免疫疾患があり、全身に様々な症状が出現します。

オープンキャンパスでは代表的な疾患である関節リウマチの診断と治療についてお話しし、診断に重要なツールである関節エコーを触っていただこうと思います。

